

2019年8月1日 ドイツ・ミュンヘン

# 2019年度 第3四半期決算

期間:2019年4月1日~6月30日

## 主要市場で強い逆風が吹くも、堅調な成長を継続

「当社の主要市場が大幅に弱含みとなったにもかかわらず、今年度の目標を改めて追認しています。ここしばらく続いている兆候ですが、世界の地政学・地経学上の影響により好調であるはずの投資マインドが損なわれています。堅調なモビリティ事業と堅実なプロジェクト遂行によって、当社は、今年度の目標を達成できるものと考えています。」— ジョー・ケーザー、シーメンスAG社長兼CEO

- 受注は8%増の245億ユーロ。売上は4%増の213億ユーロ。出荷受注比率は堅調で1.15。受注残は過去最高の1,440億ユーロ。
- 為替の影響およびポートフォリオの効果を除く比較可能ベースで、前年同期比で受注は6%増、売上は2%増。
- インダストリービジネスの利益(Adjusted EBITA)は、デジタルインダストリーおよびパワー&ガス事業の減少が主因となり19億ユーロに減少、インダストリービジネスの利益率は、退職手当費用により0.3%押し戻され、9.6%となった。
- 純利益は11億ユーロで、前年同期比ではインダストリービジネス以外が大幅に改善した。基本1株当たり利益(Basic EPS)は、退職手当費用により0.09ユーロ押し下げられ、1.28ユーロとなった。

2019年第3四半期より、2018年度アニュアルレポートで報告したとおり、新会社体制に応じた財務結果報告を実施。前期数字は、比較を目的に掲載。

## Siemens

| (単位：100万ユーロ)                | 第3四半期  |        | 増減 (%) |    |
|-----------------------------|--------|--------|--------|----|
|                             | 2019年度 | 2018年度 | 実質     | 比較 |
| 受注                          | 24,514 | 22,802 | 8%     | 6% |
| 売上                          | 21,275 | 20,473 | 4%     | 2% |
| 利益(Adjusted EBITA)          |        |        |        |    |
| インダストリービジネス                 | 1,935  | 2,199  | (12) % |    |
| 内、退職手当                      | (66)   | (79)   |        |    |
| 利益率(Adjusted EBITA margin)  |        |        |        |    |
| インダストリービジネス                 | 9.6%   | 11.3%  |        |    |
| 退職手当を除く                     | 9.9%   | 11.7%  |        |    |
| 継続事業からの利益                   | 1,134  | 1,164  | (3) %  |    |
| 内、退職手当                      | (105)  | (138)  |        |    |
| 純利益                         | 1,137  | 1,210  | (6) %  |    |
| 基本1株当たり利益<br>(単位ユーロ)        | 1.28   | 1.36   | (6) %  |    |
| フリーキャッシュフロー<br>(継続事業と非継続事業) | 434    | 879    | (51) % |    |
| ROCE<br>(継続事業と非継続事業)        | 8.7%   | 10.1%  |        |    |

- 受注高は今期も継続して非常に堅調で、インダストリービジネスの大部分で増加し、なかでも、特に台湾での総額 23 億ユーロの洋上風力発電（サービス業務含む）で 2 件の受注を記録した Siemens Gamesa Renewable Energy (SGRE) の急な伸びが牽引した。また、Siemens Healthineers およびモビリティ事業は大幅な受注増となり、メンテナンス契約を含む総額 12 億ユーロの高速鉄道契約 1 件をロシアで獲得。パワー&ガス事業は、大幅受注減。
- 売上増は、SGRE の大幅増と Siemens Healthineers の明らかな成長に牽引された。パワー&ガス事業は緩やかな売上減。
- 出荷受注比率は 1.15 と堅調。受注残は過去最高の 1,440 億ユーロ。
- 為替換算の影響で、受注高と売上がそれぞれ 1 パーセントポイント押し上げられた。ポートフォリオ取引は、前年同期比の売上高にわずかに影響したに過ぎない。
- Siemens Healthineers およびモビリティ事業の利益 (Adjusted EBITA) が増加。デジタルインダストリーは、短周期ビジネスが市場状況の逆風を受け、利益幅の大幅減があったものの、インダストリービジネスの利益に最大の貢献。パワー&ガス事業の利益 (Adjusted EBITA) は減少。同事業は、前年同期に投資株式の売却益があった。
- インダストリービジネス以外では、企業財務活動の結果が堅調で大幅改善。
- 前年比で所得税率が低下し、純利益に貢献した。前年同期は、主に旧通信事業に関連した非継続事業の利益 4,600 万ユーロがあった。
- フリーキャッシュフローは、主にモビリティ事業が原因でインダストリービジネスが前年同期の 17 億 6,400 万ユーロから 9 億 7,700 万ユーロに減少。インダストリービジネス以外の前年同期のフリーキャッシュフローには、年金資産への大幅出資があった。
- 年金引当金および類似債務は、2019 年 6 月 30 日現在で 95 億ユーロ (2019 年 3 月 31 日現在は 94 億ユーロ)。
- ROCE (使用資本利益率) の低下は、平均使用資本の増加と純利益の減少とが重なったため。

### 将来の業績に関する見通し

このリリースには、過去の出来事ではなく、将来の業績に関する見通しや情報が含まれています。「期待する」、「予想する」、「意図する」、「計画する」、「信じる」、「模索する」、「推定する」、「予定する」といった言葉やその類義語は、将来の業績に関する見通しに該当する可能性があります。こうした見通しは、当社の現時点での予測と一定の前提に基づいており、したがって、特定のリスクや不確実な要素に左右されることがあります。シーメンスの事業活動、事業戦略、業績に影響を及ぼす要素はさまざま、その多くはシーメンスには制御不可能なものです。そのため、シーメンスグループの実際の業績、活動、成果は、こうした将来の業績に関する見通しの記述や暗示とは大きく異なる可能性があります。特定の不確実な要素には、景気や取引状況の変化、為替動向や金利の変化、他社による競合製品・技術の導入、シーメンスグループの新しい製品・サービスの不振、事業戦略の変化やその他のさまざまな要素の変化などが含まれます。万一、これらのリスクや不確実な要素が現実のものになれば、実際の業績は将来の業績の見通しの予想、確信、予測、期待、意図、計画、予測とは大きく異なる可能性があります。シーメンスは、将来の業績に関する見通しの作成後に発生する出来事に照らして見通しを更新、修正する意図はなく、またそうした義務を負うものではありません。

### 【参考資料】

本資料はシーメンス AG(ドイツ・ミュンヘン)が 2019 年 8 月 1 日(現地時間)に発表したプレスリリースの一部を日本語に抄訳したものです。本資料の正式言語はドイツ語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。原文プレスリリースおよび関連資料は以下の URL よりご覧いただけます(英文)。

<https://press.siemens.com/global/en/pressrelease/earnings-release-q3-fy-2019>

### 報道関係からのお問い合わせ先:

シーメンス株式会社

コーポレートコミュニケーション部 今村

E-mail: masako.imamura@siemens.com